

とは、前に一言せし通りである。

彼上の如く、右京濱救護班は、二旬の長きに亘り、種々の困苦缺乏に堪え、殆ど露宿に等しき生治を續けながら、罹災者の爲め健闘したのである。

前に概説した如く、我派遣救護班員及船舶乗組員が、危険を冒して、長時日の間、罹災者と同様の困苦缺乏に堪え、依つて以て此大震災の救護及輸送の重大任務を全うし、他の同業者に劣らざる成績を擧げ、而して義勇奉公の誠を致し、海運業者の使命を辱しめなかつたのは、我等の欣幸とする所である。

尙参考の爲め右震災輸送に関する同社の成績概要を記せば、左の通りである。

(イ) 救護使用船 總數二十四隻、此總噸數一〇八、〇〇〇噸。内官廳備上提供船及罹災者輸送船二十一隻、此總噸數九八、五一噸。

(ロ) 無賃輸送罹災者 九、六二三人。

(ハ) 無賃輸送救護員(阪神京濱間) 三五二人。

(ニ) 無賃輸送救護品及材料(阪神京濱間を除く各港間) 四、〇七〇噸。

(大阪商船株式會社報告)

第六節 其他碇泊諸船の救援行動

その他船舶も亦必死の活動により、多數の避難者を救助したことは、永く銘記すべきである。

左にその諸船の收容數を表示すれば、

(船名)	(收容人員數)	(備地)
中華丸	八十八名	第一區
日英丸	百八十名	同
甲陽丸	二十二名	同
富元丸	五十五名	浮標九號
大明丸	四十四名	第一區
大進丸	十名	第二區
索海丸	五十五名	第一區
華山丸	鮮人七十四名	同

其他、夕張丸、寶永丸、六甲丸、リオン丸、リマ丸、鳥羽丸、筑波丸、鹿山丸、東華丸、湖南丸、榛名丸、シドニー丸、スマニヤ丸、シンガポール丸、嘉代丸等の活動も實に目まじきものであつた。(海軍参考鑑抄)

第六章 諸外國の應援と艦隊の救援

今回の震災に對しては、列國齊しく多大の同情を寄せ、競うて救済物資を贈り、或は特に代表者を派して慰問せらるる等、甚だ懇篤なるもので有つた。

諸外國の應援と艦隊の救援

九月五日、早くも米國驅逐艦四隻が入港し、續いて英米佛伊の軍艦、逐次入港し、救護慰問に努めた。殊に亞米利加合衆國より陸軍野戰病院の救護班が、九月二十日來着して、直に新山下町埋立地に於て、約一、二〇〇坪(收容力三、二〇〇名)の病院を建て、内外人を問はず、傷病者の療養に努めた。其後之を日本赤十字社の管理に移した。

又中華民國からも救護班が來演し、本部を新山下町埋立地に置き、第一班を山下町に、第二班を本牧に、第三班を八幡橋に置き、各其附近を巡回し、傷病者の救護に努力した。唯だ慰問の爲め露國より來港した軍艦レーニン號だけは治安維持上退去せしめた。前記諸外國よりの寄贈品は相當多數に上つて居るのであるが、是等は各國救援の各項中に述べる積りである。

第一節 英國支那艦隊の救援

英國海軍省は、英國支那艦隊司令長官レヴェンソン大將に對し、支那各地に於ける救恤品を購入の上、全艦隊を率ひて、日本に急航し、之を日本政府に交付すべき旨電命したので、同艦隊は左の如く横濱に入港した。

九月五日、巡洋艦デスパッチ入港。

同 十日、支那艦隊旗艦ホーキンス入港、レヴェンソン大將座乗。米二〇一、八〇〇斤、毛布三二〇枚(兵員用同九六枚、士官用)、滋養食料品一五九箱、治療品二六箱積載。

九月二十日、潜水母艦アンブローズ入港。衛生材料、食糧品一、〇〇〇噸積載。今日巡洋艦ターバンは神戸を経て來航した。デスパッチは九月十七日ホーキンス及アンブローズは二十四日、ダーバンは十月四日、夫々任務を終了し、横濱を出港した。

レヴェンソン大將は、九月十三日午後、海軍省に海軍大臣を訪問し、「震災により日本國民の受けたる慘害に對し、衷心同情に堪へず。本國政府より麾下艦隊を以て、極力援助すべき旨訓電に接せるを以て、如何なる助力をも嫌ふ所にあらず、幸に御指示あらむことを望む」と申出て、九月二十二日第一艦隊司令長官及第三戰隊司令を旗艦ホーキンスに招待し、晚餐を供した。

第二節 米國亞細亞艦隊の救援

一 一般狀況

米國海軍省は、九月二日の夜、亞細亞艦隊司令長官に對し、震災救助の爲め、至急艦隊を日本に派遣すべき旨訓令した。當時秦皇島に在つた米國亞細亞艦隊司令長官アンダーソン大將は、全部を擧げて、吾國の震災救護に従事することに決し、取敢へず、秦皇島碇泊中の驅逐隊各艦に、天津駐屯米國陸軍の貯藏軍需品、醫療機、械藥品、救護材料並に救護員を搭載して、該驅逐隊が九月五日日本港に入港したのを初めとし、爾後艦隊及び附屬艦船其他商船は、救恤品を搭載し、陸續本港に着して、救濟品の運輸、貨物船

の移轉海上運輸岸壁陸揚作業等殆ど全部乗組員の手によつて之を行ひ、或ものは徹宵探照燈を點じて、作業に従事し、又毎夜驅逐隊各艦を根岸沖に出動し、我艦船に倣つて、當時暗黒の根岸方面なる陸上を照射した等の行動は實に目醒ましきものであつた。

米艦着港月日表を示せば左の如くである。

九月五日 驅逐隊二二四號、二一二號、二一三號、二一四號、二一七號、三四三號、三四四號は醫療機械、藥品救護材料並に救護員等を輸送し來た。

九月七日 亞細亞艦隊旗艦ヒューロンが來た。

九月十日 水雷母艦ブラックホーク號は、食糧品アンペラ等を輸送來航した。

九月十一日 商船ウェストオロウ號は、自動車六臺、ガソリン二、五〇〇箱、潤滑重油二〇〇樽を輸送來航した。

九月十二日 商船スルカは自動車四十二臺及其燃料を積載して、品川に入港した。商船ゼネラルアラバは、食糧品衛生材料を積載して神戸に入港し、敷設艦ビタインは、天幕及附屬品二四五個を積載して、當港へ來港した。

九月十二日 驅逐艦三四三號、三四四號二隻は避難民六〇〇名を横濱より清水に輸送した。

九月十四日 ウェストオロウ號は、避難民二、〇一七名を横濱より神戸に輸送した。

九月十五日 運送艦メリット號は、野戰病院一式、在マニラ醫官一八名、看護婦六〇名、寢臺三〇臺、

療品一五〇噸、米穀其他の食糧八五〇噸積載來航した。

九月十七日 給炭艦ベコスは醫療材料五〇噸、木材五萬尺、食糧二七〇噸、其他四三〇噸を積載來航した。

九月十九日 商船プレジデントグラントは、食糧其他四、〇〇〇噸、但し内一部神戸にて陸揚し、曳船敷設艦フィッチ、運送船アバレンダスは、食糧衛生材料其他木材二七〇噸、運送船メーダスは、食糧藥品衣服約八、〇〇〇噸を積載來航した。

九月二十三日 商船プレジデントタフトは洋服五〇〇着、米四〇〇噸、但し米は神戸にて陸揚を積載來航した。

九月二十三日 商船プレジデントジャクソンは衣類食糧品を積載來航した。

九月二十四日 プレジデントマデソンは右同。

九月二十五日 砲艦サクラメントは右同。

九月二十六日 運送船ソナムは米一九七噸、衛生材料四、三九三噸を輸送した。

十月十八日 運送船ベガは各種救恤品價格五十七萬一千弗を積載來航した。

是に於て米國亞細亞艦隊司令長官は、我國政府その他の救護事業が、着々進捗する傾向を知り、外國軍艦は長く横濱方面に在ることは、返つて後に事端を繁くするに過ぎずとの感を抱くありしもの如く、其海軍の計畫せる救濟材料搭載の艦船相次で横濱に來着し、駐日米大使館員、在横濱米人の跡仕

末も略ぼ整理に近づけるを見るや、公然其意を米國大使並びに第三戰隊司令長官に傳へて、帝國政府の諒解を求め、而して帝國政府假海軍省の鄭重なる應酬に接して、大に満足する所があつたので、九月二十二日午後三時旗艦ヒューヒン並びに驅逐隊を率ひて、上海に向け、横濱港を出港した。爾後艦船の本邦沿岸に於ける行動の大略は、次の如くである。

横濱神戸長崎に各驅逐艦一隻を配して、通信連絡を計り、横濱に在るものは、同時に陸上に建設せる野戰病院用蒸溜水供給の任に就いた。

横濱に残存する救恤諸艦船統率の爲、水雷戰隊指揮官リヤーン大佐をブラックホークに駐めた。但し砲艦サクラメントの來着と共に撤退せしめた。尙十三日には米國海軍省及艦隊司令部は近日到着物資及救護班の豫定の旨を左の如く報じた。

(船名)	(出發港)	(横濱着豫定日)	(主なる搭載品)
ビクタール	天津	九月十一日頃	救護班
シンミン	上海	九月十二日頃	牛乳等食糧
プレシデント	同	九月十四日頃	救護材料
ベリコ	馬尼刺	九月十五日頃	食糧・醫療品・天幕
メリット	同	九月十六日頃	救護班・食糧
メグ	同	九月十七日頃	食糧
ソム	桑港	九月二十一日頃	食糧

ベリコ 同
アリクチック 同

同 同

食糧品・建築材料・毛布

(以上外務省調査)

二 米國救援團寄贈病院

設立經過の概要

今回の震災に當り、米國救援團よりの寄贈に係る病院は、三個にして、茲には特に横濱に於ける建設經過のみを記さう。リード少將を司令官とせる米國運送艦メリット及メーグスの二隻は、寄贈病院たる二個の野戰撤回病院、竝に一個の野戰基本病院の諸材料及食糧品を積載し、九月十四日横濱港外に到着し、十七日に至り、岸壁に繋留の上、諸材料の揚陸を開始した。

是より先き、我外務省及陸海軍關係方面よりは、各官を派遣せられ、諸般の便宜を與へられた。殊に陸軍省よりは、森島一等軍醫を聯絡將校として派遣せられ、病院建設竝に其の材料の受授に至る迄、斡旋盡力に努めしめた。

建設位置は横濱市の東南方新山下町に於ける新埋立地にして、安河内神奈川縣知事の斡旋に依り、神奈川縣に於て一時無償にて借り受け、之を建設するに至つたのであるが、其位置偏在せると、土地濕潤加ふるに交通不便なるとの爲め、米國側に満足を與へ得なかつたのを遺憾とした。斯くて九月十

七日より、諸材料の揚陸を開始し、病院建設地迄の運搬には、主として米國側携行の貨物自動車を用ひ、又市内の車馬人夫をも使役した。

當初の豫定は、四十八時間以内に建設を了する手筈であつたが、勞力不足にして、材料の運搬意の如くならず、且つ諸材料錯綜して、之が選別に困難なりし事情等に依り、遂に荏苒二週日餘を費すに至つた。

病院建設と同時に、米國側の最も困難を感じしは、夜間點燈と給水とにして、前者は神奈川警備隊司令部に申請して、照明燈用發電裝置使用の許可を得、東京電燈株式會社が、該地區方面に於て作業開始迄を條件とし、外線は右會社にて、内線は米國側にて取付け、點燈することとなり、給水は附近なる増徳院の井水良好なるに依り、此井戸ポンプに米國側にて屈折自由なる鐵管を敷設し、所要水量を得ることとなつた。

斯くて米國側にて建設したものは、バラック一棟、職工兵卒用天幕五十四張、諸室用天幕十張、室用二張、倉庫用九張、合計七十五張、病床七百五十に對する醫藥衛生材料食糧品、約百五十噸を附屬した。其内譯は差の如くである。

- イ 諸材料格納庫 (バラック) 一
- ロ 倉庫 一〇
- ハ 病院 經理室 一
- ニ 職員用 寢室 一
- ホ 看護婦用 寢室 一
- ヘ 看護婦用 便所 一
- 四 四
- 一

ト 職員用 天幕	一五	ワ 電話 交換 室	一
チ 病室	三	カ 將校 用 食堂	一
リ 野外 試驗 室	二	ヨ 將校 用 炊事	一
ヌ 屍 室	一	タ 下士 用 炊事	一
ル 便 所	一	レ 下士 用 食堂	一
ヲ 管 理 室	一	ソ 下士 卒 用 寢室	一
			二六

以上の如く建設を了したので、先づ米國醫師看護婦等に於て、九月二十五日より、外來患者及入院患者の取扱を開始し、前者は一日平均三十人内外、後者は合計九人に達した。當時患者取扱上、言語不通の故を以て補助勤務方につき、神奈川縣支部に交渉があつたので、青木小學校救護所に從事中の、香川支部第二救護班から安田醫長及看護婦二名を派遣した。

天幕病院の繼承竝に病院材料の整理

九月二十九日、外務省より佐藤事務官出張して、米國側より天幕病院全部の寄贈を受け、更に之を日本赤十字社に交付の手續をなした。此に於て同社は、本院を繼承し、豫て準備したる岡山支部救護班をして收容患者を繼承せしめた。

天幕病院繼承後に於て、處置したる事項次の如し。

(イ) 天幕病院の位置は、市の東南海岸に偏在し、居住民少數なるのみならず、交通不便の地區にして、風強く氣温低く、且つ冬期に入るの季節なるより、病院として之を繼續するの適當ならざるを認

め、之を新山下町臨時病院救護所として、外來診療を主とし、九月二十九日より十月二十九日に至る、一箇月間之を經營した。

(ロ) 天幕病院は、神奈川縣支部長之を管理し、貴重なる備品類は、附近にある縣設ブラック式建物の一部を借用して、之が保管所に充て、病院に附屬せる救護材料中、一部は之を根岸及東神奈川の二臨時病院に配給し、食糧品類は、臨時病院の外神奈川縣横濱市及その他の所要團體に譲渡して、其の處分を了した。

病院附屬の諸器械材料等概要左の如し。

醫療材料レントゲン装置二臺、各専門科診療器械繙帶材料藥品類等。

食料品 メリケン粉白砂糖小豆、ミルク、コンビーフ、ペーコン、サーヂン各種野菜罐詰。

被服及寢具シャツ類各種作業衣、蒲團、蒲團覆枕、枕、覆敷布、毛布、寢臺等。

食器 アルミニウム製椀、膳、ナイフ、フォーク、コップ、茶匙等一切、竝に炊事場用諸器類。

消耗品 紙類、蠟燭、マッチ、石鹼、釘等重油等。

土木器具 鐵スコップ、シャベル等。

雜品 大小卓子、椅子、暖爐、手提ランプ、西洋風呂、組立便所、電話機、鐵パイプ角材等。

十月二十九日、天幕救護所を撤廢し、更に米國材料を用ひ、假倉庫を建設して、所屬の器械器具、其の他の諸材料を格納し、神奈川縣支部の職員をして、之を整理せしめた後、天幕其他の物品一切の配給處分

案を決定した。

附記 天幕病院繼承、十月中旬迄は、神奈川警備司令部は、特に兵員を派遣して、病院の警備保護に當られ、其後は横濱憲兵隊より憲兵數名を分遣して保護せられた。(日本赤十字社救護誌)

第三節 佛國艦隊の救援

佛國政府は、東洋艦隊の軍艦一隻在香港に、食糧醫療材料等を積み込み、横濱に派遣方左の如く電命した。

九月七日、巡洋艦コールマルは横濱に入港、米三噸、麥粉一〇噸を横濱市民に寄贈し、十六日出港した。

九月八日、砲艦アルゴールは長崎に寄り、二十五日出港した。

同二十三日、救護商船コンジェリーは救護用米及衛生材料を搭載し、佛領印度支那から入港した。

尙ほ九月十三日、ゴルーマン艦長は、海軍省を訪問し、今回の震災に對し、深甚なる同情を表する旨を陳述した。

第四節 伊國艦隊の救援

九月九日、巡洋艦カラブリアは横濱に入港、米少量及衛生材料若干を寄贈し、二十五日、神戸に向けて

佛國艦隊の救援 伊國艦隊の救援

出港し、同艦は今回震災に對する伊太利の深甚なる同情を齎らして來航したが、艦長は海軍大臣を訪問の機を得ずして出港したので、伊太利大使附武官は、代つて海軍省を訪問した。

九月二十一日、運送船ロサンドウは横濱に入港し、食糧十數噸を寄贈した。

(以上外務省調査)

第五節 外國汽船の救援

一 英國汽船ベングロー號及ヘンリオツク號

英國汽船ベングロー號 當時船長 エイマックコークエデル氏は、大正十二年八月二十九日、神戸から來港して、第二區に碇泊し、荷揚を終了した上、船主の出帆命令を待ち居るうち、一日の大震災突發に會し、本船又等しく大動搖を感じたが、陸上の諸建築物は須臾にして全潰したが、間もなく避難者の多數が陸續として海岸へ來るを見た。同時に女子小兒等が護岸や岸壁から海中に飛込むのを發見したので、船長は直に船員に命じて、救命艇を引下させた。命を受くるや、逸早く海岸へ漕ぎ付け、溺死せんとするもの、救助を求めつつある女子小兒等を主として、救助艇へ引上げ、本船へ移送した。斯る必死の行動は、數時間に亘り、日本人百三十七人を救助した。而して九月五日まで收容者を船内に留め置き、同日、日本海軍の御用船の來着に際して、大多數を同船に移し、同日午後神戸へ向けて出帆した。ベングロー號の船長アレキサンダーウエプスター氏は、大正十二年八月三十日、神戸から本港へ入著し、激震

突發の際は、未だ荷役中であつたが、船内の人夫等は、悉く歸宅を切望して止まなかつたけれど、陸上の危険なることを憂ひ、船長は極力説き聞かせ、彼等を船内に留め置き、同時に僚船ベングロー號と同じく、日本人の救助に勉め、將に溺れんとする避難者九十七名を船内に收容した。而して本船は、是等の罹災者を五日間收容し、彼等の上陸を希望する者は、これを送り歸し、然らざる者は、本船に收容のまま、同日午後、右避難民百六十名を搭載して神戸へ向けて出帆した。

(震災彙報)

二 蘭國汽船、チサラツク號及びチレボット號

九月一日、蘭國汽船チサラツク號は、第四區に碇泊中であつたが、他船に先んじて、發動汽船を派出し、港内水中に溺れんとする罹災者を救助し、時間節約の爲、附近繫泊中の英國汽船ベングロー號及エンブレス・オブ・オーストラリヤ號、其他の汽船を運び出し、最初の避難者をベングロー號に運んだ後、同船に於ても端艇を下して、必死救助に従事した。チサラツク號の船員は、溺者救助を始めた時は、午後三時頃であつた。又チサラツク號發動機艇は、本船船長バンシムルンビーク氏、自ら立つて、これを指揮し、船醫ジークランヌ氏も、傷病者手當の爲め、同船に在りて、猶其他チサラツク號より端艇を下し、約二百名の人夫を乗せたまま、新山下町附近に乗揚げて、浸水せる汽船に到り、之を本船に運び、夜半を過ぐるまで、陸上の遭難者を本船に運んだ。

二日より五日迄の間に、猶ほ多數の罹災者を船内に收容し、而して九月五日午後、本船は各國人からなる避難者總數約九百名を收容して、神戸に向け出帆したのである。

四日は前述の遭難船から救助したる約九百名荷役人夫及神戸行を望まざる少數の避難者を、彼等の望みに任せて、他の日本船に移らしめた。九月一日午後港内の海中に避難した人員は發動汽船が再び來らざるを恐れ、神經過敏となつてゐたが、チサラック號の一士官は、彼等と共に海中に止まり、極力彼等の鎮撫に力めた。

九月三日、蘭國汽船チンポート號は横濱港に入港し、當時の船長シャッテレブルグ氏は、當日より六日迄に各國の神戸行避難者、約三百名を收容して出帆した。
(震災彙報)

参 考

外國軍艦の救援に關する諸報

九月十二日

(市日報)

米驅逐艦援助の報 今十二日午前八時、米國驅逐艦二隻にて、避難民約六百名を清水港に輸送の豫定。之れを以て外國軍艦による避難民輸送の第一とす。

九月十二日

(震災彙報 神奈川版第三號)

米國驅逐艦二隻にて、避難民約六百名を清水に向け出發せしむる豫定なり。

九月二十一日

(震災彙報 神奈川版第十六號)

米國東洋艦隊の歸還の情報 アンダーソン提督の率ゆる米國東洋艦隊の主力は、本邦震災救護の爲、逸早く東京灣に集中し、爾來食糧品の補給、罹災民の運送に従事して、救恤事業に多大の貢獻を爲し來れる處、近く東京灣を離るる豫定に付、十九日山本首相は代理として、松平歐米局長を、又海軍大臣は代理として、山梨人事局長を旗艦に遣し、謝意を傳達せしめたり。

松平氏は山本總理の名代として、アンダーソン提督に對して、日本政府國民の厚意を傳達し、目下倉卒の際にて、十分に謝意を表明する方法なきため、取敢へず、今回多大の援助に對して、深く感謝の意を致すべき命を受けたる旨を述べ、山梨人事局長、又海軍大臣の謝意を傳達せり。之に對し、アンダーソン提督は、今回日本國民の享けたる慘害に、慰問の意を表し、斯る危急の際にも、日本國民が秩序を亂さず、官民共に敏速に應急の措置を執り來れる態度を賞揚し、米國東洋艦隊の助力が、幾分にも此不幸を救ふに役立ちたりとせば、艦隊一同の幸とする旨を答へたり。

尙アンダーソン提督は、答禮の爲、今二十日山本總理及び海軍大臣を訪問する筈なり。